

## 千里金蘭大学後援会 令和7(2025)年度総会報告

千里金蘭大学 令和7(2025)年度総会を6月14日に開催しました。会員数743名のうち、出席会員及び委任状による出席をあわせて369名であったことから、本会規程第19条に基づき、総会は有効に成立いたしました。

総会に先立ち、今年度の会長、副会長及び監事の選任について、昨年度の3役に引き続き在任いただくことをご承諾いただいた旨の報告がありました。

その後、新入生保護者役員の選出、令和6(2024)年度事業報告・決算及び令和7(2025)年度事業計画・予算が承認されました。

会長：齋藤 政代／副会長：早川 京子／監事：中村 美好（敬称略）

昨年度の事業報告では、備品購入費により非常時にも使用可能な充電機能付き防災ベンチを設置した旨をご報告いたしました。

今年度の事業計画においても、環境整備の一環として中庭へのベンチ購入をご承認いただき、後援会の目的である「学生生活の向上」に資する学修環境の充実を進めてまいります。

後援会では、いただいたご意見を踏まえ、今後もより良い教育環境の充実に努めてまいります。

保護者の皆さまには、引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



### 千里金蘭大学 後援会事務局 (千里金蘭大学 総務課内)

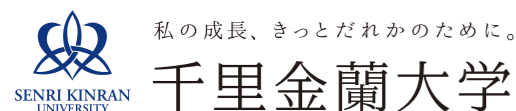
本学ホームページに後援会ページを開設しておりますので、ぜひご覧ください。  
<http://www.kinran.ac.jp/kouenkai/>

## 保護者懇談会開催報告

9月21日(日)に保護者の皆さまを対象とした保護者懇談会を開催しました。第1部では後援会事業の一環として就職セミナーを実施し、第2部では各学部より学修状況や学修指導の取り組み、学修支援の状況などについて報告を行いました。第3部では個別相談を実施し、保護者の皆さまからのご質問に対し、各教員が丁寧に対応しました。本学では今後も保護者の皆さまとの連携を深めながら、学生の皆さんの学修支援および教育活動の充実に努めてまいります。あわせて、いただいたご意見を教育改善や学部運営、指導方針、学修環境の整備などに活かすとともに、教員間の情報共有や指導方法の改善に取り組んでまいります。

## 年間スケジュール(後期)

2025	2026
10月	1月
25日(土) 総合型選抜基礎学力型前期A日程 26日(日) 総合型選抜基礎学力型前期B日程	5日(月) 授業開始 6/7日(火/水) 専門科目、 保育・教職科目調整期間
11月	2月
1/2日(土/日) 大学祭(百花繚蘭祭) 3日(月・祝) 祝日授業日 16日(日) 総合型選抜チャレンジAO III期	13日(金) Web成績発表 17/18日(土/日) 大学入学共通テスト
12月	3月
14日(日) 総合型選抜基礎学力型後期 総合型選抜チャレンジAO IV期 大学院入試(後期) 22日(月) 年内最終授業日 27日(土) 冬期一斉休業(12/27 - 1/4)	22日(木) 一般選抜(前期)、臨時休講 23日(金) 後期最終授業日 26日(月) 授業予備期間(1/26 - 30) 2日(月) 専門科目、保育・教職科目調整期間 8日(日) 一般選抜(中期)、 総合型選抜エクステンドAO(2月実施) 6日(金) 保護者宛成績発送予定 12日(木) 総合型選抜エクステンドAO(3月実施) 13日(金) 学位授与式



### 千里金蘭大学 総務課

〒565-0873 大阪府吹田市藤白台5-25-1

tel.06-6872-0673

発行/令和7(2025)年11月30日

大学web <https://www.kinran.ac.jp/>

公式Twitter <https://twitter.com/senrikinranuniv>

受験生応援サイト <https://www.kinran.ac.jp/cheer/>

受験生応援ブログ <https://www.kinran.ac.jp/cheer/blog/>

広報サークル Instagram [kinran.pr.circle](https://www.instagram.com/kinran.pr.circle)

### 編集後記

今年は大阪・関西万博が開催されました。会場内の「大阪ヘルスケアパビリオン」では、「食のデモライブ」が行われ、栄養学部の中村准教授のゼミ生3名も参加しました。このパビリオンは特に人気が高く、25年後の自分(アバター)とともに、2050年の都市生活を体験できる内容でした。

これから2050年に向けて、私たちは食や教育、医療といった分野をどのように進化させていけるのでしょうか。未知を恐れず、多様な学びや経験を重ねることがきっと進化への一歩となるはずで。

次回、日本で開催される万博は、2027年に横浜で開催予定の「国際園芸博覧会」です。機会があれば、ぜひ足を運んでみてください。



私の成長、きっとだれかのために。



- 01 学長メッセージ／研究科 MESSAGE
- 02 学部・学科 MESSAGE
- 03 ゼミ探訪vol.23
- 04 ゼミ探訪vol.24
- 05 部局 MESSAGE
- 06 大学祭(百花繚蘭祭)／ホームカミングデー
- 07 後援会総会報告／保護者懇談会開催報告  
年間スケジュール(後期)



マロワンレシピコンテスト マロニー賞「パスタ・de・マロニー」

Vol.30

2025.November

学報



2025年、金蘭会学園は  
創設120周年を迎えました

## 学長メッセージ



千里金蘭大学 学長  
福嶋 教偉

学校法人金蘭会学園は、120年以上前に女性が「自ら学び、人に役立てる」ように勉学できる学校を目指して創立され、その想いは本学の建学の精神として受け継がれています。2年前には、女性が社会で活躍できる栄養、教育、看護の3学部体制として出発しました。また、大学院看護学研究科修士課程を開設し、今年度は2名の大学院生が臓器移植に関する研究で修士号を取得しました。

入学式でもお伝えしたように、近年は「多様性(Diversity)」という考え方が広く認知されるようになり、その一つとして男女平等の概念も社会に浸透し始めています。しかし、日本社会においては、多様性(Diversity)推進の名のもとに、単に会社、役員、議員、さらには大臣の女性比率向上ばかりを重視する傾向も見られます。このことは、その女性大臣をお飾り的に扱っているのであり、これこそ女性を差別していることだと思えます。女性だからその職位に就くのではなく、その女性が性別に関係なく、その職位に相応しい人格であるからその職位に就くようにすることが重要です。つまり、女性自身も、自分が理想とする職務に相応しい知識、技術、人間性、そして物事を自ら考える力を養うことが重要です。このたび、日本初の女性首相になられた高市早苗氏は、自らの力で自由民主党の総裁となり、内閣総理大臣に就任されました。このような形で女性が社会で重要な地位に就くような時代になる良い兆しではないかと考えます。

大学に入学し、資格を取得して就職することが人生の終着点ではありません。学生の皆さんが、これから大学生活をどのように過ごしたいのか、どのような職業に就き、どのように社会や職場で活躍したいのか、つまり「自分はこれから何をしたいのか」ということをまずじっくりと考えてみてください。そして、その夢の実現に向かって、日々の学びに真摯に取り組んでください。

栄養、教育、看護は、いずれも人を扱う学問です。ぜひ、本学であなた自身の夢を見つけ、その夢を叶えるために、知識や技術の修得はもちろん、人に寄り添うやさしい心や自ら考え行動する力を育ててください。そして、それぞれの分野のプロとして、また女性としての人生をさらに広げてください。皆さんには、管理栄養士、保育士、幼稚園・小学校教員、看護師、保健師、助産師、さらには養護教諭、栄養教諭、将来的には子ども療養支援を目指す非医療職として社会で活躍できるように本学で研鑽していただきますが、どれも人にかかわる職種です。自分の知識や技術を高めるとともに、「命の大切さ」を尊び、人へのやさしさの心も培ってほしいと願っています。前進する皆さんを、教職員一同、全力で応援します。

ぜひ、千里金蘭大学という学びのキャンパスを存分に活用し、希望に満ちた大学生活を満喫してください。私たちは皆さんの成長と未来を全力で支えていきます。

## 研究科 MESSAGE

# [ 大学院 看護学研究科 ]

看護学研究科長 登喜 和江

### 第1期生修了の喜び

第1期生の2名が修士(看護学)の学位を取得し、次のステージへと歩みだしました。

修了式では、15名の院生と14名の大学院教員に祝福を受け、2年半の学びを振り返りつつ、これまでの学びの成果を社会に還元するという力強い宣言に頼もしさを覚えました。また、研究結果は今年の国際学会(2025 Organ Donation Congress [ISODP2025])に発表予定との嬉しい報告もありました。



### 研究を形に

院生の学会発表・参加も慣習化されつつあります。今年度は、看護実践の場で生じる困り事に光を当てた学会発表で課題解決の糸口について研究成果の報告を行いました。また、データ収集や分析途上での「研究計画に関する中間報告会」では、教員や他の院生からの鋭くも温かいコメントがブラッシュアップの機会となりました。報告会は、高みを目指す研究者集団の心地よい時間でもあります。



## 学部・学科 MESSAGE

# [ 栄養学部 栄養学科 ]

栄養学部長・栄養学科長 石川 秀明

### 多様な学び～産学連携・マロニーレシピコンテストの開催～

令和7(2025)年度上半期・栄養学部の最大のトピックは、マロニー株式会社とのM1(マロワン)レシピコンテストの開催です。今年はマロニー株式会社の設立75周年の節目にあたり、同社が吹田市に本社を置く企業であること、またマロニーの開発に本学の教員が寄与したご縁から、本学での開催に至りました。吹田市からの後援もいただき、まさに産官学連携の取り組みとなりました。本コンテストは、マロニーを使用した新たなレシピ開発を競うもので、大学部門は本学全般(3学部)、高校部門は本学連携校と吹田市内の公立校が対象でした。一次審査には大学部門で127件、高校部門で25件の応募があり、学内の書類選考を経て、大学部門13献立、高校部門3献立が最終の試食審査会に進出しました。いずれも斬新な献立ばかりでしたが、審査会(この様子は吹田市のYouTube動画でも公開されています)では、マロニー株式会社、ハウス食品株式会社、吹田市長による厳正な審査の結果、大学部門8賞、高校部門3賞が決定し、各受賞者は、11月の大学祭にて表彰されました。



# [ 教育学部 教育学科 ]

教育学部長・教育学科長 小野 淳

### 高い就職実績と手厚いサポートで夢を応援

今年度は、教育学部教育学科として新たにスタートして3年目となります。昨年度の就職実績は、保育幼児教育職では100%、小学校教員で78%の合格率でした。小学校の採用試験で惜しくも不合格となった卒業生も講師登録を行い、小学校教員として勤務しながら再度、採用試験に挑戦しています。卒業後も採用試験対策については、学部として引き続きサポートを行っていきます。ぜひ、大学にお越しください。皆さんの夢を応援いたします。

また、今年度より、授業の一環でリトミック指導資格が取得できるようになりました。リトミックは楽しく音楽と触れ合いながら、身体的、感覚的、知的にも、子どもたちが持っている「潜在的な基礎能力」の発達を促す教育です。保育・幼児教育の現場で利用されており、学生の皆さんの実践力を高めていくことができると思っています。



# [ 看護学部 看護学科 ]

看護学部長 藤田 俱子

### 充実の毎日で理想とする看護職を目指そう

令和7(2025)年度も後期に入り、1年生は専門科目も多くなり、いよいよ本格的に看護師を目指す自分自身を意識するようになったのではないかと思います。大学に入学して初めての実習を経て、どのような看護師を目指すのか、その看護師像に向かって今後何を学ぶのか、何に取り組むのか、自分の課題は何か、しっかり考えて将来に向けた学修に臨んでください。2年生は基礎看護学実習を終えて、次は領域別看護を学んでいきます。一つひとつの科目を丁寧におさえていきましょう。3年生は息つく間もなく領域別実習ですね。自分に関心を持てる領域に巡り合えることを願っています。4年生はこれから国家試験に向けラストスパートです。皆それぞれに理想とする看護職を目指して頑張ってください。



大阪府赤十字血液センターでの実習



基礎看護技術演習Ⅱ  
シミュレーション演習

Seminar  
ゼミ探訪 **23** vol.  
栄養学科  
栄養教育論ゼミ



田路 千尋 准教授

食の大切さを「食育」を通して伝える！

栄養教育論ゼミでは、「食育」を通じて食の大切さを伝える活動に取り組んでいます。

ゼミ活動として主に2つの取り組みを行っています。

1つ目は、食に関する絵本の読み聞かせです。私たちはこの活動を「読み聞かせ隊」と呼び、幼稚園児や小学校低学年の子どもたちを対象に実施しています。季節ごとにテーマに合った絵本を選び、楽しく食への関心を高めてもらうことを目的としています。特にクリスマスやハロウィンの時期は人気があり、子どもたちや保護者の方々にも好評です。

2つ目は、学校給食に関する調査研究です。日本の学校給食や食育は世界的にも高く評価されていますが、食べ残しが生じることがあります。そこで、給食を残す要因を明らかにするため、吹田市立の小・中学校や金蘭会中学校の協力を得てアンケート調査を行っています。また、令和6(2024)年7月には吹田市立A中学校で中学2年生3クラスを対象に、「バランスのとれた食生活を考えよう」というテーマで家庭科の時間において食育の授業を実施しました。学校給食を生きる教材とした、食事の大切さについて一緒に考える内容にしました。生徒たちが真剣に授業に参加してくれたことがとても嬉しかったです。

調査研究の成果は、毎年開催される卒業研究会で発表しています。さらに、令和7(2025)年8月には、フランス・パリで開かれた国際栄養学会議(ICN2025)でもポスター発表を行いました。

このように、私たちのゼミでは大学で学んだ知識を活かし、地域に根ざした活動を通して「食の大切さ」を伝えています。



student's message

ゼミ生メッセージ

4年間を振り返ると、とても充実した環境の中で勉強に打ち込めたと感じます。3月の国家試験まで、これまで一緒に頑張ってきた友だちとときには競いながら勉強に励みたいと思います。

私の所属するゼミのグループでは、市内の中学2年生約200名に給食や普段の生活リズム、食生活についてのアンケートを行い、結果をまとめて傾向を分析する研究を行っています。さまざまな視点から実施した分析が今後活かせるように取り組んでいきたいと思っています。

島村 楓花 さん

4年生では、国家試験の勉強と卒業研究について主に活動しています。友人との会話や散歩などの休憩をしながら、無理なく3月初めの試験まで頑張っていくつもりです。

卒業研究では、中学生に協力してもらい、給食、生活、日々の満足感、将来についてなど、さまざまなアンケートの結果から統計を出しました。その数値を見比べ、地域の中学生の傾向を知り、中学生の元気な毎日に関わる健康づくりや楽しい食生活に結びつくように研究しています。

高橋 歩里 さん

Seminar  
ゼミ探訪 **24** vol.  
教育学科  
音楽表現ゼミ



中根 佳江 講師

保育者の表現力とは！  
まずは自らの表現力を高め、  
子どもの表現力を導けるように。  
さまざまな音楽表現にchallenge♪

保育・幼児教育コース3年生「音楽表現」ゼミは、音楽を通してどのように表現していくか、子どもたちの表現力をどのように捉えるか、また保育者に必要な表現力とはどのようなものが必要かを検討しています。

前期では、どのような音と向き合うか、どう音楽を作り上げていくか、一人ひとり考え、やりたいものを決め、その取り組みをファシリテートするのは、決めた学生。そして、曲や音源なども考えてみんなで取り組む活動を行いました。

主にドレミパイプ、カップスを使用し、それぞれ音の出し方や、テンポの決め方など試行錯誤を続け、表現力を磨いていきました。

また、自らの表現力が子どもたちにどのように伝わるのかを知るために、教育学部が主催している子育て支援事業「子育てひろばOh!キッズ」において、ドレミパイプの演奏活動を行いました。さらに今年度から教育学部において、リトミックの指導資格が取得できるようになったことを受け、学生にも親子で行うリトミックを体験してもらい、リトミックの中で子どもたちはどのような表現をするのかを観察しました。

音楽を通して、子どもたちが笑顔になり、自由に表現する姿を見て、学生それぞれ音楽の力や、子どもの前での保育者の表現力に対して気づきを持ったようです。

後期は、総合的な表現として、パペット音楽劇やミュージックベル、合奏にchallengeです。みんなとの活動の中で、楽しみながら保育者に必要な表現力として、自らの表現力を高めていってほしいと願っています。



student's message

ゼミ生メッセージ

音楽ゼミでは前期の一番最初に自分たちの音楽を使ってやりたいことや興味があることを伝え合い、そこからどんな活動をこれから行っていくかを決めました。最初の活動は自分の生活の中にある自然の音を見つけて共有しました。すると自分では気付かなかった音や自分の身の回りには無い音が沢山見つけられ、いろんな音の発見があり楽しかったです。そして今、カップスにも取り組んでいます。簡単な曲から難しい曲までチャレンジしています。

河合 陽菜 さん

前期では、ドレミパイプとリトミックを行いました。ドレミパイプは親子の前での披露を目標に、担当の音を決めて2曲ほど練習しました。一人で複数本のドレミパイプを担当するため、覚えることに苦戦しましたが、本番も親子に楽しんでもらえたので大成功でした！

リトミックでは、実際にリトミックの現場に参加しました。音楽を通して親子のかかわり方を知り、対象年齢に合わせた取り組みをすることの大切さを学ぶことができました。

佐脇 希彩 さん

## 部局 MESSAGE

### 学修・キャリア総合支援センター

#### 後期の就職・キャリア支援行事

学校の先生になるには、「教職課程の単位を修得し教員免許を取得する」と「教員採用試験に合格する」が必要ですが、それはあくまでスタートラインであって、教師は学校現場で児童生徒に「先生に値する人」と認められて初めて真の意味で「教師になる」と言えるでしょう。センターでは、後期も木曜4限を中心に、学生の皆さんのキャリア形成を支援するさまざまな行事を展開し、出口指導（卒業後の就職斡旋など）だけではなく、自身の成長が「誰かのために」なることを実感し、喜びや充実感を持って働くことができるようなサポートを展開します。



### 付属図書館

#### 図書館の隠れたサービスのご紹介

図書館では実はこんなサービスも提供しているのをご存じですか？カウンター前には、開館時間中いつでも自由に利用できる文房具を設置しています。

のりやハサミ・穴開けパンチなどを用意していますので、レポートやレジュメの作成に活用ください。また、館内にはシュレッダーも設置しており、実習で利用した記録物やメモ帳なども適切に処理することができます。

「こんなサービスがあればいいのに」など、図書館のサービスについてご意見やご要望がありましたら、お知らせください。



### 教学センター

#### 履修登録の内容をよく確認し、計画的に履修を進めよう

令和7(2025)年度後期が始まり、各科目の授業も折り返しの時期を迎えています。学修計画を進めるうえで、履修登録は成績評価や卒業要件に直結する重要な手続きです。各自が内容を正確に確認し、計画的に履修を進めることが求められます。大学での学びは日々の積み重ねによって成果が表れるものであり、主体的かつ継続的に取り組む姿勢が大切です。教学センターでは、授業アンケートなどを通じて寄せられた意見を授業改善に活用しています。今後も、円滑な履修環境の整備と教育活動の一層の充実に努めてまいります。



### 研究推進・社会連携センター

#### 大学と社会を結ぶ活動を行っています

研究推進・社会連携センターは、教員の研究活動を支援するとともに、「大学と社会を結ぶ窓口」としての役割を担っています。

11月には、「生涯学習吹田市民大学 千里金蘭大学キャンパス講座」を開催し、地域の皆さまに生涯教育の場を提供することができました。

また、「きんらん保健室ひだまり」は、3学部と連携して企画・運営を行い、北千里などで1年を通して地域の方々の健康をサポートする活動を行っています。

さらに、ボランティアなど大学生活に役立つ地域情報についても随時発信してまいりますので、学生の皆さんも是非活用いただければと思います。



### アドミッションセンター

#### 大学祭×ミニオープンキャンパスを開催

8月9日に本年度夏期のオープンキャンパスが終了し、11月1日には、大学祭と同日にミニオープンキャンパスを実施しました。

ミニオープンキャンパスでは、90分間で個別相談を中心に、参加者の方々の疑問や不安に対し、学生・教員・職員が丁寧にお話を伺いました。また、イベントの最後には花火鑑賞も行われ、参加者の方々からは「すごく丁寧に親身に接して頂けて大変満足でした。施設もすごくきれいで良かったです。」「打ち上げ花火がとてもきれいでした!」「普段の学生さんの姿を見ることができて良かったです。」など、多くのご意見が寄せられました。次回は12月21日のオープンキャンパスです。引き続き、皆さまのご期待にお応えし、本学の魅力発信に努めてまいります。



# 2025 大学祭 百花繚蘭祭

今年度の百花繚蘭祭は、11月1日(土)・2日(日)の2日間にわたり、多くの皆さまをお迎えし、盛況のうちに開催されました。初日には夜空を彩る打ち上げ花火が行われ、キャンパス全体が華やかな雰囲気に包まれました。各クラブ・サークルによるステージ発表や模擬店も大いに賑わい、会場が一体となって盛り上がりました。2日目には「マロウングランプリ」表彰式が行われ、福島学長、後藤吹田市長、マロニー株式会社の井上社長にご登壇いただき、受賞者への表彰が行われました。ご来場の皆さまをはじめ、学生の皆さん・教職員・地域の皆さまのご協力に心より感謝申し上げます。



### ホームカミングデー

11月1日(土)の大学祭初日に、ホームカミングデーを開催しました。今回は短期大学時代の卒業生の方々にも多数ご参加いただきました。久しぶりの母校で、友人や恩師との再会を喜び、同窓会のひとときを存分に楽しめました。30年前の思い出を語ってくださる場面もあり、本学の歴史の長さを改めて実感いたしました。

また、ご家族で参加された卒業生の方は、お子さまとともに大学祭のイベントにも参加され、ご家族全員で楽しんでいる様子が見られました。年に一度の同窓会ではありませんが、卒業生の皆さんにお会いでき、教職員一同大変うれしく思っております。

